

平成29年度実績に係る部局評価書

部局名:接合科学研究所

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		6大学6研究所共催による国際会議を開催し、18か国から456名の参加を得たこと、上海交通大学にJWRIオフィスを新設したこと、拠点内に設けた国際共同研究員制度(JIJReC)等を活用して国内外研究所間の連携強化と人材育成・人材交流に取り組み、国際共著論文比率が昨年度の22.9%から35.8%へと増加したことが評価できる。
【社会貢献】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【グローバル化】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		ハノイ工科大学のJWRIオフィスに常勤職員を置き、ASEAN地域のハブとして、国際共同研究を推進したことや、国際ジョイントラボを4か所設け、拠点を形成していることが評価できる。
【業務運営】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。

【評価区分2:「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】 常勤教員一人あたりの論文数について、目標を達成し高い水準を維持していることが評価できるとともに、全教員を挙げて国際共著論文の掲載に注力し、本学のグローバル戦略にも寄与していることが認められる。 また、公開講座等の実施については、新たに「接合科学カフェ」を実施するなど意欲的に取り組むことで、実績を向上させたことが評価できる。</p>
